

# 第40回

# うつのみやこども賞だより

## 令和5年度 3回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

### 《今月選ばれた本》

### 『きみの鐘が鳴る』

尾崎 英子／作 (ポプラ社)



### ～読んだ本の感想より～

- エイト学舎でみんなそれぞれちがう苦しさをかんじているが、最後は自分の良さに気づいてよかった。
- みんな事情をもちながらも受験にむけてがんばっていくのがすごいと思った。
- 中学受験で合格するために色々なしれんを乗り越えていたのがすごいと思いました。
- 自分が入りたい学校に入れた人や入れなかった人もいたけど、どれも楽しかった。
- かりんが後半で自分は自分、姉は姉だといいきったところが一番良かったです。
- いじめられたり、プレッシャーかけられたり、いろいろな子が塾にいたけれど、みんなで暗算ゲームなどを楽しんでいていいお話だと思った。
- 涼真、唯奈、伽凜、比呂、つむぎは、みんなとても大変そうだったけど、みんなどこかには受かって、中学に通えてよかったと思った。

令和5年8月6日

読めば  
愉快だ  
宇都宮

宇都宮市立図書館

UTSUNOMIYA CITY LIBRARY

### 『ラベンダーとソプラノ』 額賀 濤／作 (岩崎書店)

- いろいろなことへの向き合い方について、とても考えさせられる本だった。
- 8人が休んだときに真子は先生に言いたいことをはっきり言えていて、すごいなと思いました。
- 真子が優里に保健室登校の事を言い、学校に来られるようになったので、よかったと思いました。
- ずっと金賞に追われて、どんどん悪くなる歌を変えようと、真子が穂乃花に大声で言い放っていたのが、かっこよかったです。
- 半地下合唱団の活動がバシバシ、お母さんと真子が話す場面では泣きそうになってしまったし、読み終わったときに「もう一度読みたい」と思った。

### 『あずきの絆』 高森 美由紀／作 (岩崎書店)

- 蓮は坂本と山内にいじめられていたけれど、鬼につかまってしまったときに助けたことに、びっくりしました。
- あずきあらいと実際におはぎを作っているところがおもしろかった。
- 人間だとばれてしまったり、もう少しで友達が食べられそうになったりとハラハラドキドキの展開が面白かった。
- 「あずきあらい」がやさしいようかいただったので、山内たちもすくわれたのかなと思っています。

### 『空と大地に出会う夏』 濱野 京子／作 (くもん出版)

- 理一郎最初論理的じゃないと無理などといっていたが、海空良とであい、いろいろなぼうけんをとおして論理的以外にも考えられるようになった。
- 理一郎は、自分と全然違うタイプの人とも仲良くできてすごいと思った。
- 3人の組み合わせがおもしろいなと思いました。